

第2回香川県ダム検証に係る検討委員会 議事要旨

日時：平成23年3月22日（火）10:00～12:15

場所：香川県社会福祉総合センター 7階 第2中会議室

【出席者】

白木委員長、石塚委員、井原委員、大高委員、角道委員、工藤委員、森委員、好井委員、大西高松市長、稲垣高松市水道事業管理者、高口香川県土木部長、小野香川県高松土木事務所長（委員全員出席）

【議事概要】

○審議事項

- ・3ダム（栴川ダム、五名ダム再開発、綾川ダム群）のうち栴川ダムの治水の観点からの比較検討
（利水等他の観点からの検討は次回）

●審議結果

- ・香東川水系の治水対策案については、国からの26例示を基に30案検討し、抽出3ケースについてさらに詳細比較を行い、栴川ダムを中心とする対策案が最も有効であるとの結論を得た。

○主な意見

学識経験者

- ・香川としての地域の独自性を出した整理の仕方についても考えるべき。
- ・ダム事業費の減額理由については、もう少し分かり易く整理すべき。
- ・内場ダムの活用については、操作ルールやかさ上げ以外にも、農業用水用の容量の一部を洪水調節用に転用することも検討すべきではないか。
- ・堤防を全体的にかさ上げすることは堤防決壊時等にリスクが大きくなり、原則すべきではないが、部分的なかさ上げは有効性があるというのは理解できる。

関係地方公共団体

<高松市長>

- ・治水対策案として、栴川ダム案が一番有効という結果は理解できる。ただし、環境対策を行ったうえで事業実施することが必要である。
- ・雨水貯留施設や森林保全等はダムの代替案になる程の大きな効果はないとしても、治水対策として有効なものは、とりまとめ時にその旨をきちんと示すべき。

<高松市水道事業管理者>

- ・水道利用者の負担軽減の観点からコスト縮減に努めて欲しい。
- ・工事については、一日も早い着工と早期完了をお願いしたい。